

児童朝会 講話 ■令和4年 5月 16日
No.5 「大隅西 1」

おはようございます。校長先生の声は皆さんの心に届いていますか？ 校長先生と目と目が合うと届きやすくなりますよ。

さて、先週も実にたくさんのつぶやきをいただきました。ありがとうございます。お笑いをみたとき、ゲームをしたとき、バスケットでゴールしたとき、三振をとったときなどたくさんの笑顔のつぶやきがありました。中でも校長先生は「人にやさしくしてもらったとき」というのが心に残りました。みなさんはどうですか？いつも、本当にたくさんの書き込み、本当にありがとうございます。

さて、今回から「大隅西の歴史」ということをみなさんと考えてみたいと思います。

みなさんは、いつも給食の時に牛乳を飲んでいきますね。さて、そのメーカーはどこのものでしょうか？明治？森永？いいえ給食の牛乳はいかるが乳業のものです。しかし、いかるがになったのは2003年以降でそれまでは、太田牧場の牛乳が給食では出ていました。

大隅西の歴史と牛乳がどう関係するのでしょうか？少し周りの人と聞き合ってみましょう。

そう、太田牧場は東淀川区の大桐にあったのです。今ではあとかたもありませんが、瑞光4丁目の隣の駅豊里大桐駅のところに大きな牛舎があって、そこでは最盛期には200頭もの乳牛が飼われていたそうです。畜舎は今は奇しくも牛井屋さんとマンションになってしまっています。飼っていた牛さんは、牛井屋さんではなく、枚方市の方に引越をしています。

今でも、ときどき太田牧場の名前を見ることができます。校長先生も学校の近所に1つだけ見つけましたが、太田牧場という名前の入った牛乳箱です。見たことある人いませんか？

昔は新聞のようにどの家でも牛乳を家まで毎朝届けてもらっていたのですが、牛乳箱というのは、その届けてもらった牛乳を入れておく箱のことで、玄関先においてあり、その箱に「太田牧場」と書かれています。また見つけてみてください。

そして、太田牧場があったころ、この大隅西小はここにはなくて、今の太隅東小のところにあって、東と合わせて「大隅小学校」とよばれていました。それが今から約40年前の1980年昭和55年に1学年が8クラスほどになり、児童数が増え過ぎたので、大隅東と大隅西に別れ、ここに大隅西小が誕生しました。だから、本校の創設は1980年なのですが、大隅小学校の歴史も含めると、もう少し昔に遡ることができます。

そしてこの大隅西小の名前は、大隅小の前は「おおすみ」という言葉すら使われていませんでした。いったい、なんという学校の名前だったのでしょうか？

続きはまた来週お話ししますね。ということで、今週の宿題は、昔の大隅西小の名前を考えてみてください。正解は来週の児童朝会でお話します。来週は、いよいよ大隅西の歴史と牛乳の関係についてくわしくお話したいと思います。今週も最後まで静かに聞いていただきありがとうございます。